



人気漫画「進撃の巨人」に登場する主要キャラクター3人の等身大銅像が日田市大山町の大山ダムでお披露目されました。

① 銅像を大山ダムに設置することで、物語のどんな場面を再現したのでしょうか？

除幕式でお披露目された進撃の巨人の銅像。左端が作者の諫山創さん＝日田市大山町の大山ダム、撮影・鎌手美和



② 作者で大山町出身の諫山創さんは銅像の設置について何と話していますか？

「進撃」キャラ立つ

大山ダムで漫画の等身大銅像お披露目



銅像の前で記念撮影に応じる諫山さん

③ 銅像の設置を企画した「進撃の日田まちおこし会議」は今後、どんな活動を計画していますか？

【日田】人気漫画「進撃の巨人」に登場する主要キャラクター3人の等身大銅像が8日、日田市大山町西大山の大山ダムでお披露目された。除幕式には作者で同町出身の諫山創さん(34)が駆け付け、完成を祝った。同日から一般公開(無料)も始まった。

銅像は主人公のエレンと、ミカサ、アルミン。少年期に初めて巨人に遭遇した場面を再現した。大山ダムの壁面は高さ約70m。作中の序盤、主人公たちは壁に覆われた世界で数千人ある未知の巨人と戦う。その物語のイメージとダムを重

【日田】銅像を設置する予定。除幕式には広瀬勝貞知事ら約200人が出席。諫山さんは18歳で大山町にいた。銅像をきっかけに大山、日田、そして大分を多くの方に知ってもらいたい」と話した。

市の新たな観光資源にしよと有田団体「進撃の日田まちおこし会議」(織田 荘太郎代表)が企画。昨夏、クラウドファンディングで支援を呼び掛けたところ、目標の1400万円を上回る約2968万円が集まった。銅像は4月に設置する予定だった。新型コロナウイルスの影響で延期していた。(首藤福功)

諫山さん「地元」に恩返し

ファンが駆け付けた。作者の諫山創さんは「大山町で育つていなければ、作品は生まれなかつた」と制作秘話などを披露した。

作品の人気に比例して、クラウドファンディングで予想額の倍近い資金が集まった。今後も新たな銅像を制作するなど地元の活性化に貢献する。トクシヨウで諫山さんは「山に囲まれた小さな町から出て遠くへ行きた。その時の気持ちがある」と期待。出資した東京の自営業島形麻衣奈さんは「(銅像は)作品の記念になる。立ち会えてうれしい」と感激していた。

さらに「大事なお金がありがとうございました」と何度もファンに頭を下げた。連載中の作品は物語の最終盤に差し掛かった。「自分の中で」と、2パートと明かす。「本日を迎え、最後までやりきろう」と思いを新たにしました」と話した。

同市出身の広瀬勝貞知事は「多くの人が夢を持って諫山先生のふるさとにやって来る」と期待。出資した東京の自営業島形麻衣奈さんは「(銅像は)作品の記念になる。立ち会えてうれしい」と感激していた。